

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はぐくみの家 第2ココ		
○保護者評価実施期間	R7年 8月 25日 ～ R7年 9月 12日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	R7年 8月 25日 ～ R7年 9月 12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 9月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の提供…こどもの特性などに応じ、活動プログラムを組み、支援ができています。	利用の仕方に応じたクラス・グループ分け、必要に応じて個別での活動など、ニーズによって支援の仕方を柔軟に変えている。	指導員間の情報共有を円滑にさせるために、ケース会議を実施する周期を短くする。
2	家族支援…土曜開所を実施し、保護者の方に参加していただくプログラムを設定している点。	普段の支援で気にかけていることや事業所の見立てを伝えようと共、保護者に事業所でのこどもの姿を見て頂いている。	保護者の方のニーズを聞き取って、繁栄させた企画を行う。
3	満足度…安心感を持っていただき、楽しんで利用していただいている点。	こどもの声や興味関心を反映させた遊び・活動をスモールステップで設定している。	活動の様子を、どのようにステップアップさせていくのか、見通しを持った説明をする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間の構造化…こどもの特性にできる限りあわせた環境づくりが徹底できていない。	環境についての評価や振り返りを職員間でできていない。	定期的に環境を最善なものにできるよう、こどものアセスメントと並行して再確認していく。
2	他の園との交流…交流をしているが、保護者の方への発信が不十分。	交流の実態や、交流したことでどのようなことが期待できるのかということを発信できていない。	交流会の前後の様子をお伝えするとともに、支援計画にも反映させる。
3	非常時等の対応…各非常時のマニュアルや、定期的な避難訓練の詳細をお伝えできていない。	必要最低限の説明に留まってしまい、訓練の実際の様子までお話しできていない。	土曜開所など、保護者の方にお伝えしやすい場で、非常時についての情報を発信していく。